

# 田中委員 御発表資料

# 「方言」の現在

田中ゆかり  
日本大学文理学部

1

## 『世論調査』における「方言」

- [質問]平成7(1995)～平成26(2014)年度に実施された『国語に関する世論調査』において、「方言」についての設問は何種類、のべ何設問あったでしょう？
- [答え]
  - 設問タイプとしては4タイプ
  - 方言メインの主設問は2タイプ
  - あとはSQまたはSQの選択肢
  - 約20年の間の「方言」関連設問はのべ10設問

2

# 『世論調査』における「方言」設問

- ① 共通語と方言の使い分けについての設問
  - H7Q3・H22Q8
- ② 国語に対して国に期待することについてのSQ選択肢
  - H11Q8SQ・H15Q3SQ
  - 方言を大切にし、受け継がれるようにすること
- ③ 国語についての関心についてのSQ選択肢
  - H12Q1SQ・H15Q1SQ・H18Q1SQ・H22Q1SQ
  - 共通語や方言
- ④ 危機言語関連についての設問とSQ
  - H22Q9(ユネスコ危機言語指定認識の有無)
  - H22Q10(危機言語対策の是非)、H22Q10SQ(具体的な危機言語対策意向)

3

# 『世論調査』における「方言」設問

- ①～③: 内在的な方言・共通語問題
- 1954年国語審議会標準語部会報告第二部「方言とは別に標準的発音を普及することが望ましい」
  - 1993年第19期国語審議会「現代に国語を巡る諸問題について」「共通語とともに方言も尊重することが望まれる」
  - 1995年第20期「新しい時代に応じた国語施策について」「方言の尊重」のための方策
    - [参考]第21期「敬意表現」「表外漢字」
    - [参考]第22期「敬意表現」「表外漢字」「国際化」
- 国語施策としての「方言・共通語問題」は、**共通語化の普及に伴いやや終わったトピック**に？

4

# 『世論調査』における「方言」設問

## ④: 国際機関からの刺激に端を発する危機言語・方言問題

- 文化庁「国語施策」->「消滅の危機にある言語・方言」

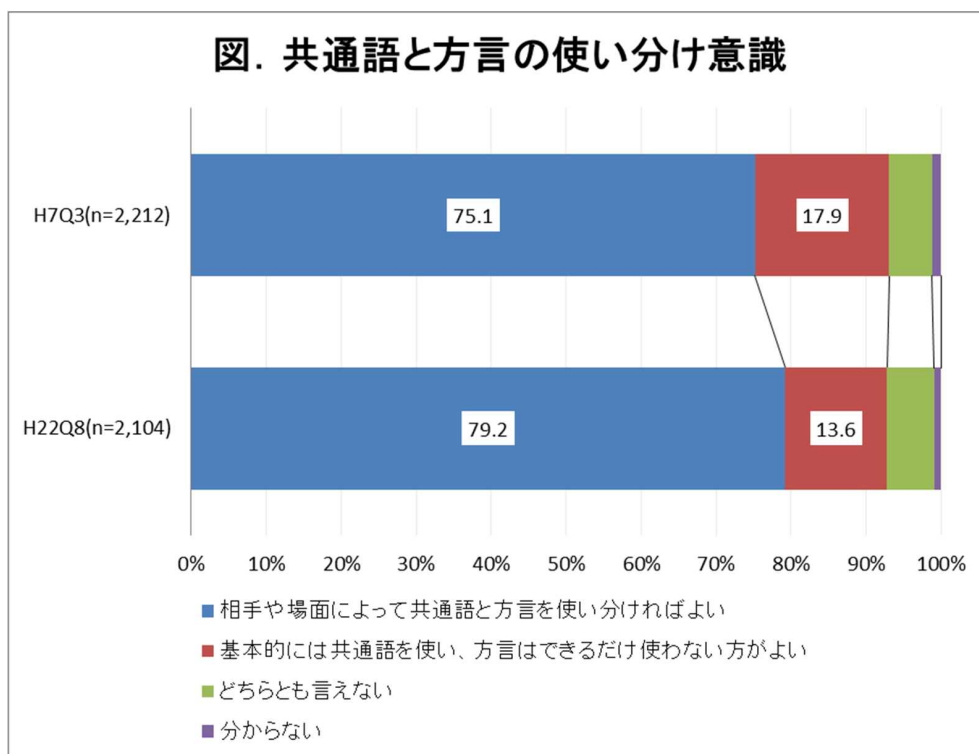
– [http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo\\_nihongo/kokugo\\_shisaku/kikigengo/](http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/)

- 2009年のユネスコからの危機言語指摘を受け、急速に**現在の国語施策トピック化**

文化庁-->消滅の危機にある言語・方言

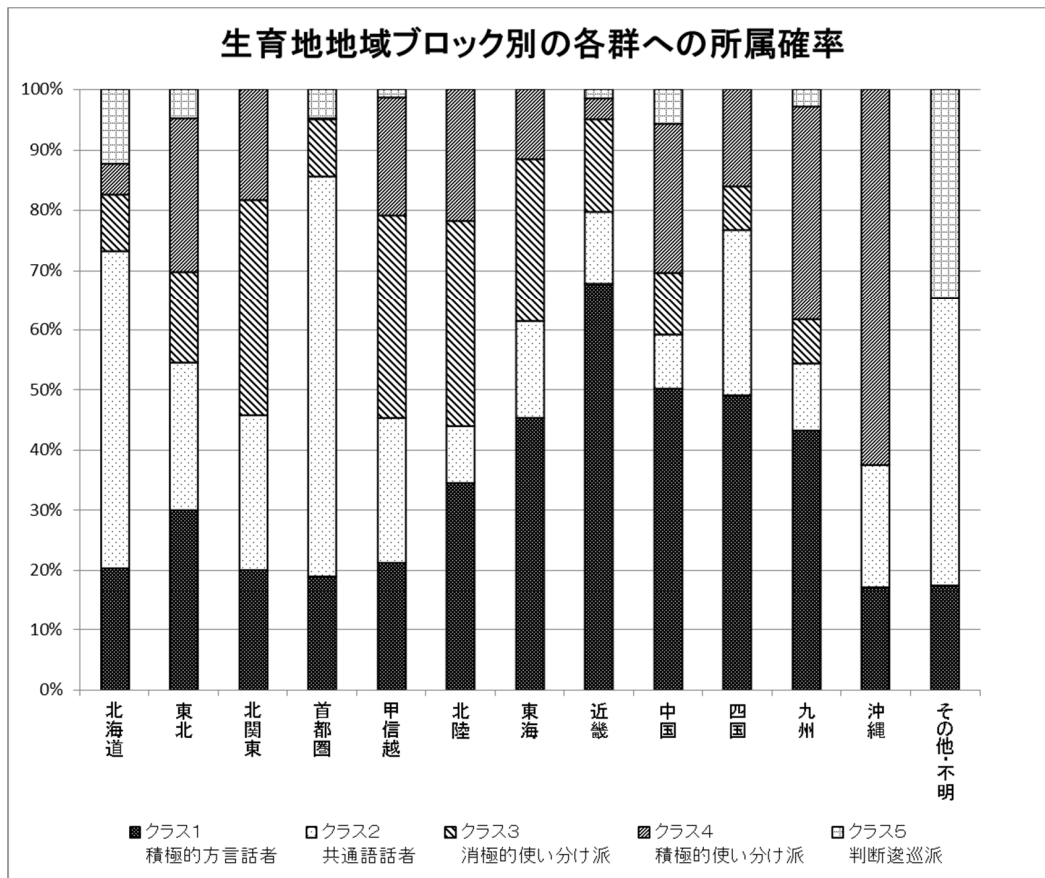
[http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo\\_nihongo/kokugo\\_shisaku/kikigengo/index.html](http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/index.html)

5

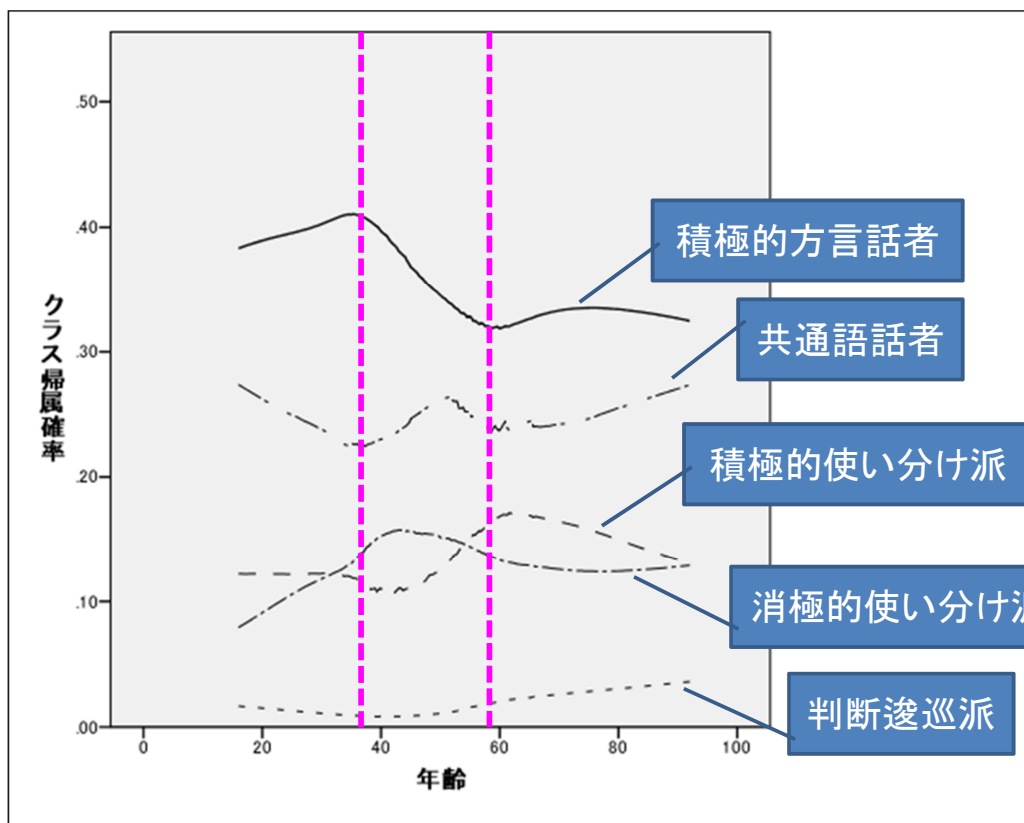


共通語の普及の結果「使い分け派」が主流だが、  
地域差・年層差は大きい

5



2010全国方言意識調査に基づく話者類型 田中ゆかり・前田忠彦(2012;2013)による



2010全国方言意識調査に基づく話者類型 田中ゆかり・前田忠彦(2012;2013)による

# 県民気質や意識、土地のことば

表1 県間差の大きい質問

質問番号	質問項目	平均	最大	最小	範囲	分散
第21問B	県人気質がある	44.3	72.0	21.8	50.2	122.5
第21問F	土地のことばを残したい	56.9	85.3	38.3	47.0	94.0
第2問B	災害の心配はない	68.0	86.2	43.4	42.8	54.7
第21問E	土地のことばが好き	61.2	83.0	41.0	42.0	80.4
第21問D	土地の人情が好き	60.6	85.4	44.4	41.0	88.2
第17問	自然や気候がきびしい	15.1	42.1	6.0	36.1	90.7
第25問D	天皇は尊敬すべき存在だ	51.3	64.7	31.6	33.1	45.3
第21問A	県人意識がある	68.7	86.0	54.7	31.3	52.3
第25問C	公共の利益を優先すべき	40.2	51.4	21.4	30.0	25.4
第3問	住んでいる県が好きだ	81.4	90.9	62.1	28.8	33.5

平均=全国平均(ウエイト平均)

分散=各県の回答率の散らばりを示す指標(計算には単純結果を使用)

NHK放送文化研究所・世論調査部1997『1996全国県民意識調査の概要』

9

## アウトライン

1. 『国語に関する世論調査』における「方言」
  2. 「方言」の価値の変遷
  3. 拡張する「方言」の用法
  4. 災害と「方言」
    - － 2016年熊本地震と「方言」
    - － 災害と方言研究者の活動
  5. 国語施策と「方言」
- 文献リスト
    - － “「方言」の現在”を知る文献
    - － “「方言」の現在”を知るサイト
    - － スライド引用文献

## 2. 「方言」の価値の変遷

近代～1970年代：方言 *stigma* の時代

共通語化

教育、テレビ

1980年代～：方言 *style* の時代

「方言」の文化財化

方言アーカイブ事業

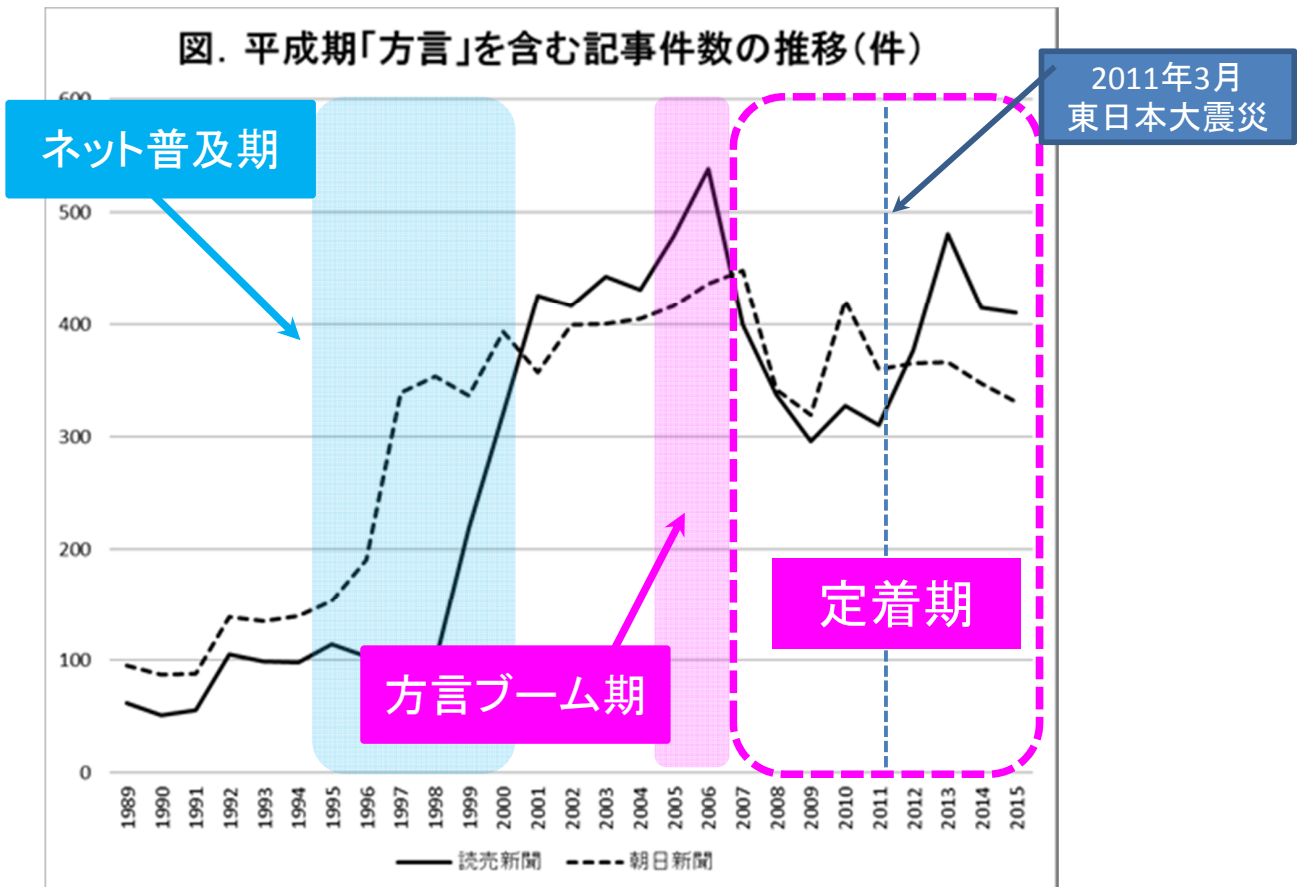
1990年代～：方言回帰・再評価の時代

「方言」のおもちゃ化

ネット、打ちことば

2000年代～：方言 *prestige* の時代

図. 平成期「方言」を含む記事数推移(件)



読売新聞(ヨミダス歴史館)、朝日新聞(聞蔵Ⅱ)「方言」記事数推移(1989/01/01～2015/12/31)



(No Image)

『ザ・方言ブック』  
日本文芸社2005

(No Image)

『ちかっぱめんこい方言練習帳!』  
主婦と生活社2005

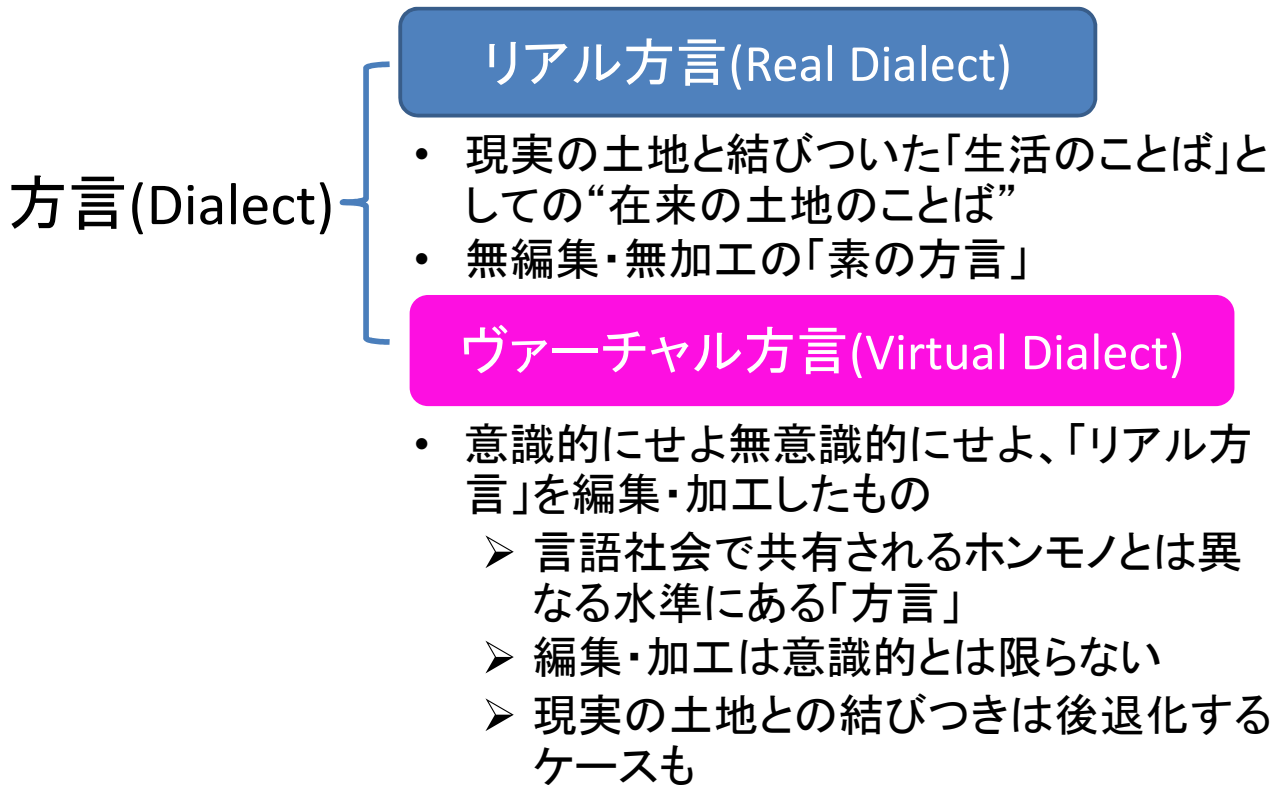
(No Image)

『使える方言あそび』  
ブティック社2005

### 3. 拡張する「方言」の用法



# 「リアル方言」と「ヴァーチャル方言」



15

## ヴァーチャル方言の用法

- 地域用法
- 「在来の土地」との結びつきが前景化した用法
  - (a)話者の“地域性”(=地元キャラ)を喚起する用法
  - (b)話題の“地域性”を喚起する用法
    - ローカルアイデンティティとローカリティの提示
- キャラ用法
- 「在来の土地」との結びつき=“地域性”の後退した用法
- ヴァーチャル方言と結びついた「方言ステレオタイプ」が前景化した用法
  - (c)話題にふさわしい“方言キャラ”を喚起する用法
    - キブンの提示

16

# 方言ステレオタイプ

- (1)「方言」の単語やいいまわしなどなどの具体的な「ことば」
- (2)「方言」に対して抱く「方言イメージ」
- (3)「方言」を使用する人々に対して抱く「方言話者イメージ」
- (4)「方言」が使用されている地域に対する「地域イメージ」

(1)-(4)の複合体＝「方言ステレオタイプ」

17

## 「方言」と「イメージ」の結びつき

地域	ブ都 ロ道 ック府 ク県	おも しろ い	かわ い	かっ こい い	温 かい	素 朴	怖 い	男 らし い	女 らし い
東 日 本	東北	△			○	◎			
	青森	○				○			
	秋田					△			
	東京			◎					
西 日 本	京都		◎		△				◎
	大阪	◎		△			◎		
	広島						△		
	高知								△
	九州								◎
	福岡								△
	熊本								△
	鹿児島								○
沖縄	○			◎					

2010年全国方言意識調査  
田中ゆかり(2011)

素朴：東北(青森、秋田)  
 カッコいい：東京、大阪  
 かわいい：京都  
 おもしろい：大阪、青森、沖縄  
 怖い：大阪、広島  
 男らしい：九州(鹿児島、福岡、熊本)  
 高知  
 女らしい：京都  
 温かい：沖縄、東北

調査年・方法が違っても大枠一致

18

## (a)話者のローカリティー提示

- 発信者が形式(高知方言:…ぜよ)から想定される地域(高知県)在住
  - 当該形式(高知方言:…ぜよ)以外にも形式から想定される特定地域を想起させる方言ベースの文体
- [ameblo.jp/ikokunomonooki/entry-11471834822.html](https://ameblo.jp/ikokunomonooki/entry-11471834822.html)

(ブログ本文は略)

19

---

## (b)話題のローカリティー提示

- 発信者の在住地(神奈川県)とは関連しない
- 当該形式(高知方言:…ぜよ)以外には、特定地域を想起させる形式は現れない。文体のベースは共通語
- 当該形式(高知方言:…ぜよ)が喚起する特定地域に関連したトピック

(ブログ本文は略)

20

## (c)方言ステレオタイプと結びついた 臨時的キャラの発動

○発信者の居住地(千葉県)とは関連しない

○「男気キャラ」を発動

○話題も「土佐」無関係  
(サバイバルゲーム)

- [ameblo.jp/kirin47/entry-11483722955.html](http://ameblo.jp/kirin47/entry-11483722955.html)

(ブログ本文は略)

21

---

## “在来の土地”から解き放たれる「方言」

- 2013年3月4日～6日に実施したgooブログ検索 (<http://blog.goo.ne.jp/>)で検索可能なすべてのブログ記事における14の方言文末表現をフレーズ検索した結果に基づく発信者属性分析(田中ゆかり2014)
  - すべての属性についての結果が帰ってきた「方言」形式(「やん。」「ぜよ」)は、平均的なブログ執筆者の性・年代・地域による目立った量的偏りは認められなかった(ネット利用者数と共変)
  - ただし、「方言」の用法については前段の通り3タイプ認められ、「(a)話者のローカリティー提示」機能は発信者と“在来の土地”との結びつきを示す場合が多い

22

# 「方言」の用法の拡張過程

高  
土地との結びつき  
の程度  
低

リアル方言としての「在来の土地のことば」

ヴァーチャル方言としての  
(a)「話者のローカリティー提示」用法

ヴァーチャル方言としての  
(b)「話題のローカリティー提示」用法

ヴァーチャル方言としての  
(c)「キャラ用法」=「キブンの提示」用法

23

## 4. 災害と「方言」



家族・地元の紐帯としての  
「方言」SNSコミュニケーション

(No Image)

くまモン描きました。ちばてつやのブログ『ぐずてつ日記』  
<http://ameblo.jp/chibatetsu/entry-12151572240.html>

(No Image)

メットに「がんばるばい！熊本」  
被災者支援にあたる自衛隊員  
2016/04/19 zakzak by 夕刊フジ  
<http://www.zakzak.co.jp/society/domestic/news/20160419/dms1604191204011-n1.htm>

(No Image)

がんばるばい熊本 2016/08/24 B.Leagueチャリティーマッチ  
<http://www.bleague.jp/ganbarubaikumamoto2016/>

25

---

「がまだせ！熊本・応援方言リレー」  
<http://ssl.japanknowledge.jp/hougen/>  
<http://ssl.japanknowledge.jp/hougen/relay.html>

(No Image)

東京女子大学 篠崎晃一ゼミ×ジャパンナレッジ

26



## 熊本支援方言プロジェクト



### 熊本支援方言プロジェクトについて

このプロジェクトは、熊本の様々な救援活動を支援するために、方言研究の面から活動するものです。東日本大震災では、外部から救援にきた方と地元の方のやり取りの際、方言がコミュニケーションの障害になったとの経験を踏まえての活動です。現場での医療・カウンセリング・ボランティア活動が円滑に行くことを願って作りました。

まず、活動の初期に必要なとされる医療現場で役立つ資料を作成しました。熊本方言身体語彙図・熊本方言医療関係語彙集などです。迅速性と重要事項を最優先にした速報版ですので、不備もありますがお許し下さい（4・23 時点で東部方言医療関係語彙のみ未完成）。

熊本県は方言が大きく3区分されますので、北部・南部・東部の ついわけて表記しています。今後は、時間をかけて、カウンセリングやボランティア活動に役立つ資料を作成していくつもりです。

### 福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部 熊本方言支援プロジェクト

<http://www.fukujo.ac.jp/university/other/hougenpjt.html>

## 支援者のための知っておきたい熊本方言

がんばっぺ熊本!!

東日本大震災と方言ネット

負けねっちゃ大分!!

ホーム 当サイトについて 大震災と方言活動情報 センターの取り組み センター情報 リンク

支援者のための知っておきたい熊本方言

お問い合わせ  
住所：〒980-8576  
宮城県仙台市青葉区川内27番1号  
東北大学大学院文学研究科  
国語学研究室内  
お問合わせは[こちら](#)から

支援者のための知っておきたい熊本方言  
このパンフレットは、県外から来られた方から作りました。みなさんは現地の方言に戸惑うことがあるかもしれません。シヨンをとるために、このパンフレット

↓こちらからダウンロードできます。  
ご自由に使用・配布してください。

PDF 支援者のための知っておきたい熊本方言.pdf  
Adobe Acrobat ドキュメント 460.7 KB  
[ダウンロード](#)

◆プリントアウトして折りたたみ、ポケットに入れておくと便利です。  
A4用紙の両面に印刷すれば1枚で済みます。

Translation tool  
言語を選択 ▼ 言語を選択

### 東北大学方言研究センター

<http://www.sinsaihougen.jp/%E6%94%AF%E6%8F%B4%E8%80%85%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E7%9F%A5%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%8A%E3%81%8D%E3%81%9F%E3%81%84%E7%86%8A%E6%9C%AC%E6%96%B9%E8%A8%80/>

# 災害と方言研究者の活動

- 日本方言研究会第103回研究発表会 日本方言研究会創立50周年企画シンポジウム「方言を介した地域支援活動」
- 2016年10月28日(金) 於:東北文教大学
  - 東日本大震災 – 東北大学方言研究センターの活動から – 小林隆
  - 東日本大震災 – 「被災地における方言の活性化支援事業」から岩手県を中心に – 大野眞男
  - 「やさしい日本語」の取り組みから 佐藤和之
  - 医療・看護・福祉の現場と方言 今村かほる
  - 地域の生業と方言 新井小枝子
- 日本方言研究会 <http://dialectology-jp.org/>
  - 同研究会機関誌『日本語の方言』

29

---

## 5. 国語施策と「方言」

30



# 文化庁委託事業と「方言」

- 危機的な状況にある言語・方言関連事業
  - “Atlas of the World’s Languages in Danger” (ユネスコ, 2009) に記載の8言語・方言についての実態調査・アーカイブ化・継承事業
  - アイヌ語/ 八重山語(八重山方言), 与那国語(与那国方言)// 八丈語(八丈方言), 奄美語(奄美方言), 国頭語(国頭方言), 沖縄語(沖縄方言), 宮古語(宮古方言)
- 東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する調査研究事業
  - 東北・北関東方言の調査・アーカイブ化・継承事業

31

## 「国語科」における「方言」の位置づけ

- 現行の学習指導要領では、国語科においても我が国や郷土が育ててきた伝統文化に関する教育を充実したところであるが、引き続き、我が国の言語文化に親しみ、愛情を持って享受し、その担い手として言語文化を継承・発展させる態度を小・中・高等学校を通じて育成するため、伝統文化に関する学習を重視することが必要である。
    - 「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ(素案)(各教科関連部分(1分冊))」2016年8月1日教育課程部会教育課程企画特別部会資料3-2①p6「国語」  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryu/\\_icsFiles/afieldfile/2016/08/02/1375316\\_3\\_2\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryu/_icsFiles/afieldfile/2016/08/02/1375316_3_2_1.pdf)
- ▶ 「方言」=伝統文化への愛着、継承・発展という位置づけ

32

## 国語施策と「方言」①

- リアル方言の調査・アーカイブ化・継承事業
  - 継続的支援が期待される
    - ただし、危機言語化している「方言」はユネスコ指定地域の伝統的方言に限らない。新しい方言、言語変換事業への支援も期待される
    - [参照]首都圏の言語の実態と動向に関する研究（国立国語研究所）  
<http://pj.ninjal.ac.jp/shutoken/>

33

## 国語施策と「方言」②

- 多様な表現リソースである日本語社会における「(地域)方言」のありようについての調査分析
  - 世界的にみてユニークな「方言」のありようにかんする調査分析は日本文化を考える上で重要
    - 背景となるコンテンツ類・言語意識の調査分析
    - 書きことば・話しことば・打ちことばコミュニケーションにおける実態と言語意識の調査分析
  - 多様な「方言」コミュニケーションをとりあげ、「かくあるべき姿」を模索あるいは提示する対象とすることはなじまない

34

日本: 地域に基づく差違が前景化している言語社会で、地域差についての知識が共有されている



欧米: 社会的属性に基づく差違が前景化している言語社会で、地域差が社会差に埋没しがち

### ●「方言」の現在”を知る文献1●

#### 【「方言」の現在 概説・入門書】

- 井上史雄(2011)『経済言語学論考一言語・方言・敬語の値打ち一』明治書院
- 井上史雄・木部暢子編著(2016)『はじめて学ぶ方言学 ことばの多様性をとらえる28章』ミネルヴァ書房
- 木部暢子・竹田晃子・田中ゆかり・日高水穂・三井はるみ編著(2013)『方言学入門』三省堂
- 小林隆(1996)「現代方言の特質」小林隆・篠崎晃一・大西拓一郎編『方言の現在』明治書院
- 小林隆(2007)『シリーズ方言学3 方言の機能』岩波書店
- 小林隆・澤村美幸(2014)『ものの言いかた西東』岩波書店

#### 【「方言」の実態】

- 陣内正敬・友定賢治編(2005)『関西方言の広がりとコミュニケーションの行方』和泉書院
- 統計数理研究所・国立国語研究所(2014)『第4回 鶴岡市における言語調査 ランダムサンプリング調査の概要 資料編: 第1分冊「音声・音韻」編』
- 日本方言研究会編(2005)『20世紀方言研究の軌跡』国書刊行会
- 『日本のことばシリーズ』明治書院(47都道府県+1巻 シリーズ刊行中)

## ●“「方言」の現在”を知る文献2●

### 【「共通語」と「方言」にかんする言語意識】

- NHK放送文化研究所編(1997)『現代の県民気質—全国県民意識調査—』日本放送協会
- 佐藤和之・米田正人(1999)『どうなる日本のことば—方言と共通語のゆくえ』大修館書店
- 田中ゆかり・前田忠彦・林直樹・相澤正夫(2016)「1万人調査からみた最新の方言・共通語意識—「2015年全国方言意識Web調査」の報告—」『国立国語研究所論集』11,国立国語研究所

### 【震災と「方言」】

- 大野眞男・小林隆編(2015)『方言を伝える 3.11東日本大震災被災地における取り組み』ひつじ書房
- 東北大学方言研究センター(2012)『方言を救う、方言で救う 3.11被災地からの提言』ひつじ書房

### 【メディアと「方言」】

- 井上史雄・大橋敦夫・田中宣廣・日高貢一郎・山下暁美(2013)『魅せる方言 地域語の力』三省堂
- 金水敏(2003)『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店
- 金水敏・田中ゆかり・岡室美奈子編著『ドラマと方言の新しい関係—『カーネーション』から『八重の桜』、そして『あまちゃん』へ—』笠間書院
- 真田信治(2007)『方言は気持ちを伝える』岩波書店
- 塩田雄大(2014)『現代日本語史における放送用語の形成の研究』三省堂

## ●“「方言」の現在”を知るサイト●

- 日本方言研究会 <http://dialectology-jp.org/>
- 国立国語研究所-->言語地図
  - 日本言語地図、方言文法全国地図
  - <https://www.ninjal.ac.jp/database/type/maps/>
- 全国方言分布調査プロジェクト FPJD
  - 国立国語研究所の共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」
  - <http://fpjd.at.webry.info/>
- 首都圏の言語の実態と動向に関する研究(国立国語研究所)
  - <http://pj.ninjal.ac.jp/shutoken/>
- 東北大学方言研究センター
  - <https://www.sal.tohoku.ac.jp/hougen/>
- 文化庁
  - 消滅の危機にある言語・方言  
[http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo\\_nihongo/kokugo\\_shisaku/kikigengo/](http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/)
  - 国語に関する世論調査の結果について
  - [http://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/kokugo\\_yoroncho sa/](http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoroncho_sa/)

## ●スライド引用文献・サイト●

- NHK放送文化研究所・世論調査部(1997)『全国県民意識調査結果の概要』日本放送協会
- 文化庁(1995～2015)『平成7～平成25年度 国語に関する世論調査報告書』
- 文化庁->国語施策・日本語教育->国語施策情報
  - [http://kokugo.bunka.go.jp/kokugo\\_nihongo/joho/](http://kokugo.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/joho/)  
\*\*\*\*\*
- 田中ゆかり(2011)『「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで—』岩波書店
- 田中ゆかり・前田忠彦(2012)「話者分類に基づく地域類型化の試み—全国方言意識調査データを用いた潜在クラス分析による検討—」『国立国語研究所論集』3,国立国語研究所
- 田中ゆかり・前田忠彦(2013)「方言と共通語に対する意識からみた話者の類型—地域の分類と年代による違い—」相澤正夫編『現代日本語の動態研究』おうふう
- 田中ゆかり(2014)「ヴァーチャル方言の3用法—「打ちことば」を例として—」石黒圭・橋本行洋『話し言葉と書き言葉の接点』ひつじ書房

39

★ありがとうございました★

40